

## 国道153号 伊駒アルプスロード 説明会等の開催状況について

伊那建設事務所

国道153号伊駒アルプスロードにつきましては、3月3日～24日の間に検討委員会、説明会等を10回開催し、環境調査の結果及びルート帯の選定案についてご説明させていただきました。住民説明会には延べ300人を超える大勢の方にご参加いただき、貴重なご意見をいただきました。

### 説明会等の開催状況

- 期 間           平成27年3月3日～平成27年3月24日   計10回
- 参加人数       延べ 355名

#### 【 検討委員会、住民検討会 】

会議名	開催日時	開催場所	参加人数
検討委員会	平成27年3月3日(火)	宮田村 村民会館	15
天竜川右岸地区 住民検討会	平成27年3月3日(火)	宮田村 村民会館	22
		小計	37

#### 【 住民説明会 】

会議名	開催日時	開催場所	参加人数
第1回 住民説明会	平成27年3月11日(水)	伊那市 春近郷ふれ愛館	27
第2回 住民説明会	平成27年3月13日(金)	宮田村 宮田村役場	88
第3回 住民説明会	平成27年3月16日(月)	宮田村 大久保地区高齢者支え合い拠点施設	58
第4回 住民説明会	平成27年3月17日(火)	伊那市 西春近公民館	44
第5回 住民説明会	平成27年3月18日(水)	伊那市 伊那市役所	10
第6回 住民説明会	平成27年3月19日(木)	駒ヶ根市 やまびこ荘	33
第7回 住民説明会	平成27年3月20日(金)	伊那市 富県ふるさと館	32
第8回 住民説明会	平成27年3月24日(火)	宮田村 宮田村役場	26
		小計	318

計 355名

# 3月に開催した説明会でいただいたご意見に対する県の考え方 (国道153号 伊駒アルプスロード)

項目		意見数	主なご意見・要望の要旨	ご意見・要望に対する県の考え方
① 交通	渋滞解消 (交通量・混雑度)	4	将来交通量はどのくらいか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来交通量については、地域間を行き来する自動車交通の流動量(将来OD)と将来の道路網を用いて、最短時間で行けるルートをシミュレーションして、各道路の交通量を推計しており、ルート帯Bで1日23,000台程度となります。</li> <li>・混雑度とは、道路の混雑の程度を示す指標で、交通の容量(その道路が流せる能力)に対する交通量の割合です。</li> <li>・全体として将来交通量は現況に対し減少傾向にあります。伊駒アルプスロードは規格の高い道路で、走行時間が短いため、周辺道路を利用している通過交通が伊駒アルプスロードに転換し、交通量は現国道153号に比べ増加します。その結果、現道の渋滞解消が図られます。</li> </ul>
		7	将来交通量推計の方法は?(人口との関係・ODとは?・交通量は増えるのか?)	
		1	混雑度とは?	
		1	現道の交通量の減少と渋滞との関係は?	
		1	このルート帯案では現道の渋滞は解消されないのではないか?	
		1	渋滞の解消を望む。	
		小計	15	
	交通ネットワーク (防災)	1	通過型の道路となり災害時や中央道通行止め時の緊急的な道路としては非常に有効的である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート帯Bの整備により、幹線道路が複数となるため、自然災害や事故等により障害が発生した場合に、救急車両の通行等の緊急輸送機能や交通ネットワークの代替性が確保されます。</li> <li>・現地の地形、地質、周辺状況に応じた災害に強い道路構造を検討します。</li> </ul>
		1	中央道通行止め時の広域農道への代替は考慮されているのか?	
		1	中央道通行止め時のBルートが優れると言う根拠は?	
		1	整備目標である緊急時の代替性は、どちらが優れているか?	
		1	広域で災害となった場合の、広域消防との連携は?	
		1	電線地中化により、防災上安全な道路を造ってほしい。	
		2	ルートBは、宮田村の地域住民はほとんど通らない。村内の行き来については使う必要がない。	
	小計	8		
道路の安全確保 (事故減少)	1	信号機をできるだけ少なくしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の走行性を確保しつつ、交通管理者の意見も聞きながら、安全性を優先した計画案を作成してまいります。</li> </ul>	
	1	天竜川を渡りクランクのようになるが、渋滞や事故は大丈夫なのか?		
	1	自転車の通行帯についてはどのような考えか?		
	1	子供たちの安全に配慮してほしい。		
小計	4			
計	27			
② 環境	大気	1	大気質について、現道部よりも新設部の方が影響が少ないというはおかしいのでは?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート帯Bは、ルート帯Aに比べ市街地や集落から離れているため、市街地・集落の大気質に影響を与える可能性は、より小さいと判断しました。</li> </ul>
		小計	1	
	騒音及び音周波・波振超音動	2	騒音、低周波音が大きな影響を与える可能性があるが、どのような計算をするのか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画段階の環境調査については、道路整備事業において通常行われる項目(「大気」「騒音」「動物」「植物」「生態系」)及び手法(検討対象と事業実施想定区域(ルート帯)との位置関係を既存資料により調査)により評価を行っています。</li> <li>・さらに詳細な環境への影響評価については、ルート帯決定後、どのような項目について、どのような方法で調査・予測・評価をしていくのかを「方法書」としてまとめ、意見をお聞きし実施していきます。</li> </ul>
		1	日照権や騒音について検討してもらいたい。	
	小計	3		
	動植物	1	動植物はどのような種を対象とするのか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに詳細な環境への影響評価については、ルート帯決定後、どのような項目について、どのような方法で調査・予測・評価をしていくのかを「方法書」としてまとめ、意見をお聞きし実施していきます。</li> </ul>
		1	猛禽類調査を行っているようだが調査結果はどうか?	
	小計	2		
	その他	2	評価項目に景観が入っていないのはなぜか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに詳細な環境への影響評価については、ルート帯決定後、どのような項目について、どのような方法で調査・予測・評価をしていくのかを「方法書」としてまとめ、意見をお聞きし実施していきます。</li> </ul>
		1	中央アルプス、南アルプス、段丘の緑、天竜川の眺望に配慮してほしい。CGを提示してほしい。	
3		調査の根拠となった資料や出典を教えてください。		
小計	6			
計	12			

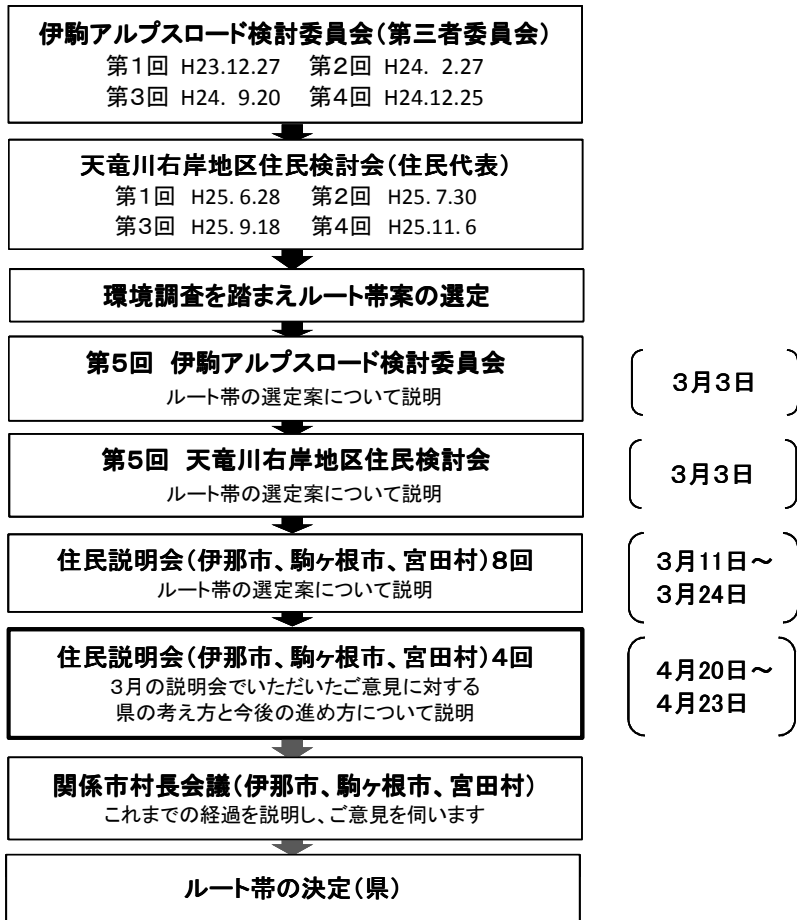
# 3月に開催した説明会でいただいたご意見に対する県の考え方 (国道153号 伊駒アルプスロード)

項目		意見数	主なご意見・要望の要旨	ご意見・要望に対する県の考え方
③ 地域への影響	農地	4	農業に支障をきたさないようにしてほしい。農地を潰して道路開発を行う意義は？	<p>・平成25年度の天竜川右岸地区住民検討会においても、農地や住宅地の分断などの影響に特に配慮してルートを検討いただいております。この案を尊重して県が原案を作成し、地域の皆様に説明して、ご意見を伺ってまいります。</p> <p>・バイパスの整備により、現道の交通量は減少しますが、主に通過交通量の転換と考えております。現道の混雑が解消され、食事や買い物など沿道に用事のある人が使いやすくなると思います。</p> <p>・今後のまちづくりについては、宮田村のまちづくり検討会で検討していくと聞いておりますので、県としても協力してまいります。</p>
		4	農地の潰れ地を最小限にしてほしい。	
		2	農地に影響する面積はどのくらいか？	
	小計	10		
	コミュニティ	2	集落や農地が分断されないよう配慮してもらいたい。	
		3	分断による行き来に配慮してほしい。	
		小計	5	
	まちづくり	5	宮田村のまちづくりについて、県としての見解は？	
		2	バイパスができると現道沿いの商業が衰退してしまうのでは。	
		1	ルート帯Bは、商業施設ができる等の、新たな広がりを持たせたまちづくりは不可能だと思う。	
1		面積の小さい宮田村を広く使うことは大きなメリットだと思う。		
1		住民や企業の事情に配慮したルート案を作成してほしい。		
小計	10			
計	25			
④ 事業性	事業費	1	どういう構造で建設費を算出しているのか？	<p>・概算事業費は、住民検討会からの提案ルートをもとに、北の原から青島までの延長約11km間について、全線4車線とし、必要な用地費、物件の補償費、太田切川、天竜川、大沢川、三峰川を渡る橋梁及び主要なアクセス道路の費用を含み算出しています。</p> <p>・地域からのアクセス等についてはルート案作成段階で検討します。</p> <p>・伊駒アルプスロードの整備による効果は、建設費と維持管理費の合計に対して1.5倍を見込んでいます。</p> <p>・リニア関連道路として整備を目指す箇所位置に位置づけており、平成39年のリニア開業時までに整備効果が発現できるよう、事業を進めていきたいと考えています。</p>
		1	事業費には4車線分見込んでいるのか？	
		4	アクセス道路や既設道路との交差点は費用に見込んでいるのか？	
		1	用地費の事業費に占める割合はどのくらいか？	
		1	効果はどのくらいか？	
	小計	8		
	事業期間	4	いつ頃から始まりいつ頃供用するのか？何年くらいかかるのか？	
		6	今後の予定は？	
		2	リニア開業時期との関連は？	
		1	(渋滞の解消、交通安全、リニアアクセスに期待し) 早期の完成を望む。	
小計		13		
計	21			
⑤ 評価項目以外への意見	進め方	6	ルート帯はいつ、誰が、どのように決定されるのか？	<p>・資料-3に今後の進め方(経緯と今後の予定)をお示しします。</p> <p>・ルート帯の選定については、これまで学識経験者等で構成された「国道153号伊駒アルプスロード検討委員会」を4回、それらの委員会の間に住民説明会を3回、住民アンケートを3回、また各地区代表者等で構成された「国道153号伊駒アルプスロード天竜川右岸地区住民検討会」を4回開催し、住民の意見をお聞きしてまいりました。</p> <p>・H27年3月には「第5回検討委員会」「第5回住民検討会」及び8会場で住民説明会を開催し、H26年度の計画段階の環境調査結果を踏まえたルート帯の選定案について説明しました。今後、関係市村長会議でご意見を伺い、ルート帯を決定します。</p> <p>・ルート帯の決定後、環境影響評価の手続きと都市計画決定の手続きを一体として進め、各段階ごとに地域の皆様のご意見を伺います。</p> <p>・ルートについては、地域の皆様のご意見を伺い、最終的には県が決定します。</p>
		3	配慮書の評価結果とルート帯決定との関係は？	
		1	ルート帯Cの決定の経緯は？	
		1	説明資料では両案拮抗しているように考えるがBルート帯が優れると判断した根拠は？	
		1	Bルートありきの比較検討項目ではないか？	
		1	人口減少するなか農地をつぶしたり、環境を壊してまでやる価値があるのか？	
		1	検討会、説明会をしてきた上での結論である。進め方は間違っていないと思う。	
		1	アンケート回収率を上げる努力や説明会の周知方法に問題がなかったか？	
		1	富県、東春近、西春近の建設促進協議会に相談してもらいながら一緒に進めたい。	
		2	(天竜川) 東側へのバイパス計画を念願していた。理想的な道路を作ってほしい。	
小計	18			

### 3月に開催した説明会でいただいたご意見に対する県の考え方 (国道153号 伊駒アルプスロード)

項目		意見数	主なご意見・要望の要旨	ご意見・要望に対する県の考え方
⑤ 評価項目以外への意見	事業主体		2 事業主体はどこになるのか？	・飯田市以北の国道153号は県が管理をしていますので、伊駒アルプスロードは県が事業主体として調査を進めております。
		小計	2	
	アクセス道路		2 道路幅員はどのくらいか？ 橋梁部の幅員はどのくらいか？	・具体的な道路構造については、今後の地形測量、地質調査等に基づき、関係法令に準拠した詳細な構造を設計していきます。基本となる道路幅員は28m、車線数については、交通量推計より4車線としておりますが、早期に効果発現を図るため、暫定2車線での供用を検討します。  ・現国道とのアクセスや交差点などの構造、さらに沿道からの出入りについては、まちづくりの計画や地域の皆様のご意見を踏まえて検討してまいります。
			1 どのあたりでどのくらいの盛土（切土）構造となるのか？	
			1 トンネルは検討したか？	
			1 幅員、縦断勾配、最小半径を良く検討し、日当たりの良い維持費のかからない道路にしてほしい。	
			2 交差点形状について平面か、立体か、側道で集約するか具体的な構造は？	
			1 宮田村の地勢、地形は十分検討したか？	
			1 暫定2車線で作るのか、4車線で作り供用するのか？ 2車線で良いのでは？	
			5 現国道とのアクセス道路は？ スムーズにアクセスできれば宮田村としての利便性が上がるのでは？	
			2 沿道からのバイパスへの乗り入れに配慮してほしい。	
		小計	16	
	現道対策		2 このバイパスができると現国道、県道はそれぞれ県道、村道となるのか？村の負担が増えるのでは？広域農道は県道に昇格できるか？	・伊駒アルプスロード整備後の周辺道路の管理については、地域の道路網全体と各路線の役割を踏まえて、県と市町村で協議してまいります。  ・現道の部分的な整備については、地域や利用者のご要望を踏まえ、緊急性、必要性等を勘案して、実施を検討してまいります。
			1 新しいバイパスができて、現道の右折レーン設置などの改良は進めてほしい。	
		小計	3	
	その他		1 今後の情報について、一般公開できるような状況になったら提供してほしい。	・ルートについては、幅500～700mのルート帯の中で、住民検討会からの提案ルートを尊重し、県が原案を作成して地域の皆様に説明し、ご意見をお聞きしてまいります。  ・環境影響評価法や都市計画法の手続きを一体として進めていきますが、事業実施までの各段階において、地域の皆様に情報をお伝えし、ご意見を伺ってまいります。  ・宮田村の全域、駒ヶ根市と伊那市の関係地区の方を対象にご案内しています。  ・本道路の整備により、リニアの整備効果をより広く波及させることが可能となります。
			4 住民の意見を取り入れた計画にしてほしい。	
			1 バイパスの成功例や失敗例も紹介しながら説明してほしい。	
			1 大沢川上流の河川改修と、伊駒アルプスロードの関係は？	
			5 ルート帯のどこを通るのか？	
		2 住民検討結果のルートとの関連は？		
		2 ルート帯の幅は？ ルート帯を出る可能性は？ ルート帯は動かせるか？		
		1 今回の説明会はどのような人が参加しているのか？		
		1 リニアアクセス関連で道路を作るという話もあるが、そんなに利用するのか？		
		小計	18	
	計	57		
	合計	142		

# 国道153号 伊駒アルプスロード 今後の進め方



## 環境影響評価の手続き

## 都市計画決定の手続き

